はまなす新聞 号外 Vol 2.

平成30年10月27日 発行元：厚田はまなす園 広報部

新たな可能性を追い求めて

地下をこよなく愛す利用者A氏。そんな彼の外出先と言えば札幌地下鉄。麻生駅～真駒内駅間を地下鉄で往来し途中地下街を散策。この外出活動を始めて早数年。しかし今年は違いました。A氏は例年行なっていた地下鉄外出ではなく新しい活動を選択しました。A氏は後悔を恐れずに地下鉄外出ではなく日帰り自炊キャンプを選択し自ら決定しました。もちろん、彼の決断にかの林修氏の一声が影響したことはいうまでもありません。

彼の決定に天も驚いたようです。悪天候のために2度の延期を余儀なくされました。そんな中、２０１８年某月、滝野すずらん丘陵公園へキャンプに無事に出かけることができました。

男は黙ってカレー奉行

キャンプではカレーライスと豚汁を作りました。カレールーはもちろん『ハウスザカリー辛口』です。本当は『ジャワカレー辛口』のはずでしたが、残念ながら売り切れでした。肉は奮発しました。国産黒毛和牛６００グラムです。右の写真はA氏が肉を焼いているところです。焼き具合がいいころ合いになったところで、野菜を投入し、じっくりと煮込みました。そして満を持してルーを投入した次第です。上の写真は出来上がったカレーです。A氏のカレー奉行のお陰で焦げ付くことなく上手にできました。

「祝い酒」改め「呪い酒？」

演歌大好きA氏の希望により坂本冬美と石川さゆりのベストアルバムをこのキャンプに用意しました。いろいろな曲を聴いて楽しむはずが、まさかの『祝い酒』（坂本冬美）エンドレスリピートになってしまいました。聞いた回数は優に50回は超えたと思います。まさに悪夢の『祝い酒』となってしまいました。

編集後記

秋風に
哀愁漂う
『ぬ～』の声